

甘木朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

甘木朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.3 平成13年7月1日発行 第2巻第2号 (通巻第3号)

Vol. 3

副会長あいさつ

甘木朝倉介護保険事業者協議会
副会長 手嶋 三樹



山野の緑も深まり、初夏の候となりました。皆様には、日々ご健勝のこと、心からお喜び申し上げます。

二十世紀最後のビッグバンと言われます、介護保険が導入され私の所属する甘木市社協も試行錯誤、走りながら取り組んできた一年です。

甘木朝倉介護保険事業者協議会の皆さん、さすがに「プロ」の集団です。蓮池会長様を中心に役職員の大変なご苦勞で甘木朝倉地域の介護保険も初期の目的以上の成果が上がりました。これも蓮池会長様、他、各役員の懸命の努力のたまものです。

これからも甘木朝倉地域が要介護者のニーズを満たし、介護保険事業所、及び介護保険にたずさわる皆様が、ますますご隆盛でありますことを祈念いたしまして、ご挨拶とします。

介護保険制度発足後、一年余りが過ぎました。制度上の不備から、当初は幾分混乱した状況もありましたが、最近では、徐々に落ち着きを取り戻している感じがします。特に、認定審査などは、思いのほか混乱もなく順調に経過しているようです。昨年、大きな問題点として取り上げられていた、ケアマネージャーとかかりつけ医の連携不足は、シンポジウムや介護情報提供書の作成など、専門部会の活動により、他の地域では見られない改善が認められているようです。

これからは、地域内における保健、医療、福祉の連携をいかに構築することが出来るかが介護サービス事業者としての技量を定める最大のポイントとされます。各事業者が他業種の事業者と協力し合うことによって、より質の高い介護サービスの提供を可能とする。このことこそ、我々協議会が求めているものなのです。

今、この協議会は、皆様の暖かいご支援とご協力によって、成長し続けています。これからも、今まで同様、よろしく願います。



副会長あいさつ

甘木朝倉介護保険事業者協議会
副会長 火野坂 徹

事業報告

甘木朝倉介護保険事業者協議会総会

去る5月18日(金)17時30分より甘木市内の松屋ガーデンパレスにおいて平成13年度甘木朝倉介護保険事業者協議会総会を開催しました。

来賓として福岡県保健福祉部介護保険室の渡辺泰弘室長(当日は、代理で同室指導育成係の坂本司係長がご出席)をお迎えし、特別会員関係では各市町村長をはじめ、甘木朝倉医師会長、甘木朝倉歯科医師会長、福岡県薬剤師会甘木朝倉支部長等、17名の皆様方にご出席いただき、この甘木朝倉地域における当協議会に対する期待の大きさを、あらためて伺い知ることができました。総会は、火野坂副会長の開会の挨拶で幕をあげ、会長挨拶では、蓮池会長より、今後も甘木朝倉地域における介護サービスの充実に向け、協議会会員一丸となって努力していきたい、との挨拶がありました。来賓挨拶では、坂本司係長より、和歌山でのケア・マネージャーの事件もことにもふれられ、福岡県としては利用者に対するサービスの質が、より一層向上していくよう様々な働きかけを行っていくこと、介護支援専門員の支援会議を行っていくこと、また当協議会の活動に対し大きな期待を寄せられていること等について話されました。引き続き、総会議長の選出が行われ、特別養護老人ホーム朝倉苑の苑長 釜堀始氏が議長に選出されました。議事開始にあたり、総会議長より会員総数131事業所中、出席56事業所、委任状提出23事業所、計79事業所の出席をもって総会が成立したことについて報告が行われました。



今村事務局長



懇親会

甘木朝倉介護保険事業者協議会総会



蓮池会長



坂本係長
(介護保険室)



釜堀議長

その後、第1号議案「平成12年度事業報告」、第2号議案「平成12年度事業収支報告」について今村事務局長が概要説明を行い、平成12年度の監査報告を茂幾監事より行っていただきました。第3号議案「平成13年度事業計画」については、野田広報部長より、第4号議案「平成13年度事業収支予算」については川波運営部長より、また第5号議案「規約の一部改正」については火野坂副会長より各説明を行いました。一部質疑応答がありましたが、各議案とも拍手をもって承認いただき、今回の総会に提出された議案はすべて可決成立致しました。

その後、引き続き懇親会が行われましたが、各専門部会の開催の活発化やシンポジウム等の実施もあり、各参加者とも協議会の活動の中でネットワークが更に拡大したようで、各所で楽しい話の輪がいくつもできていたように見受けられ、「今日の懇親会は楽しかった。」との声に参加者の皆様方より聞かれました。

こうして、設立総会後はじめてとなる平成13年度甘木朝倉介護保険事業者協議会総会及び懇親会も、会員の皆様方の暖かいご協力に支えられ、無事にその幕を閉じることができました。会員の皆様方、本当にありがとうございました。

(記 広報部 野口秀康)

福祉用具部会より

福祉用具部会
部会長 副島 昌利

介護保険が始まって一年が経過しましたが、まだまだ福祉用具を利用される方が少ないように見受けられます。そこで、今回は会報の誌面をお借りして福祉用具について皆様方にご紹介したいと思います。

福祉用具は、利用者される方の生活をより良いものとし、また利用者に対する支援計画をさらに効果的なものとするための一つの手段として、有効に活用していくことが大事だと考えております。☑

各機器を選択するにあたっては、次のような点に留意して支援を行う必要があります。

- ①目的との整合性
(利用者や家族の考え方、利用目的と合致しているか。)
 - ②利用者福祉用具の関係
(利用者の能力と機器の性能が一致しているか。)
 - ③介護者と福祉用具の関係
(介護者がその機器を利用者に対し使用できるか。)
 - ④住環境と福祉用具の関係
(利用者が居住する住居でその機器が使用できるか。)
 - ⑤社会的要因
(利用するにあたって、費用負担は可能であるか。)
- こういった考察を加えた上で、実際に機器の選定を行います。介護保険制度下では、福祉用具については貸与(レンタル)12種目、購入5種目に分類されております。

●貸与(レンタル)

介護サービス計画作成時に、ケアマネージャーや指定居宅サービス事業者にご相談下さい。

種目	摘要
①車イス	○普通型車いす(自走用)・普通型電動車いす・手押し型車いす(介助用)
②車イス付属品	○クッションパッド・電動補助装置・テーブル・ブレーキで車いすと一体的に貸与されるもの。
③特殊寝台	○背部・もしくは脚部の傾斜角度を調整する機能があるもの。 ○床の高さを無断会に調整する機能があるもの。
④特殊寝台付属品	○サイドレール・マットレス・ベッド用手すり・テーブルで特殊寝台と一体的に貸与されるもの。
⑤褥瘡予防用具	○エアーマットと送風装置または空気圧調整装置からなるエアーマット。 ○水などの減圧による体圧分散効果をもつ全身用のウォーターマット等。
⑥体位変換器	○空気パッド等を身体の下に挿入することにより要介護者等の体位を用意に変換できるもの。 (体位の保持のみを目的とするものを除く)
⑦手すり	○取り付けに際し工事を伴わないものに限る。
⑧スロープ	○段差解消のためであって、取り付けに際し工事を伴わないものに限る。
⑨歩行器	○二輪、三輪、四輪のものは、体の前及び左右を囲む把手等があるもの。 ○四脚を有するものは、上肢で保持して移動させることが可能なもの。
⑩歩行補助杖	○松葉づえ、カナディアンクラッチ、ロフストラッドクラッチまたは多点杖に限る。
⑪痴呆性老人徘徊感知機器	○要介護者が屋外へ出ようとした時など、センサーにより感知し、家族及び隣人へ通報するもの。
⑫移動用リフト (吊り具を除く)	○床走行式、固定式または据置式で、身体を吊り上げまたは、体重を支える構造のもの。 ○寝たきりの場合のベッドと車いす間等の移動を補助するもので、住宅改造を伴うものを除く

●購入

要支援、要介護認定された方に年額10万円(税込)を限度として自己負担1割で適用されます。(償還払い方式にて)

種目	摘要
①腰掛便座	○和式便器の上に置いて腰掛式に変換するもの。 ○洋式便器の上に置いて高さを補うもの。 ○電動式またはスプリング式で便座から立ち上がりの補助機能があるもの。 ○ポータブルトイレ
②特殊尿器	○尿が自動的に吸引されるもので、高齢者または介護者が用意に使用できるもの。
③入浴補助用具	○入浴用いす・浴槽用手すり・浴槽用いす・入浴台・浴室内すのこ・浴槽内すのこ
④簡易浴槽	○空気式または折りたたみ式等で容易に移動できるもので、取水または排水のための工事もとまらないもの。
⑤移動式リフトの吊り具	



訪問看護部会

部会長 鬼塚純子

(1) 第4回部会内容

- 甘木朝倉介護保険事業者協議会拡大会議報告
① 甘木市の「かんぽ介護講演会」でPRの為の内容について

(2) 第5回部会内容

- 今年度の反省
① ケアマネージャーとのかかわりが出来、訪問看護への理解を得る事が出来た。
② 利用者、家族への普及活動が足りず受け入れが十分でない。
③ 地域性を十分考慮した上で訪問看護活動を実施する。
- 平成13年度の目標
① 他職種との交流会を通じてお互いの事業を理解する。
② 協議会内で他事業者との合同部会が実施できるように調整して頂く。
③ 事業所毎に特徴があるので、訪問看護のレベルを揃え地域に受け入れて頂けるよう活動する

第4回開催 H13.2.6 全事業所、3名が参加

第5回開催 H13.4.3 3事業所中2事業所、2名が参加

居宅介護支援部会

部会長 鶴我 ケイ子

(1) 第3回部会内容

- 医療費控除の対象となる介護サービス費用についての説明
講師：川崎廣次氏（甘木税務署統括国税調査官）
今後の相談先：(0946) 22 - 2722
- かかりつけ医との連絡調整の様式・実施に向けて
様式作成「ケアマネージャーからの情報提供票」
(45医院、13病院、2診療所へ提供/毎月10日前後に送付)
- 火野坂副会長、福嶋部会長（居宅療養）交えて意見交換
- 居宅療養管理指導について 講師：福嶋正孝医師
- 13年度部会事業計画案
年4回（5月、8月、11月、2月）
学習会についての要望（情報交換、質の向上のための研修、医師との意見交換）

(2) 第4回部会内容

- 「居宅介護支援事業所と在宅介護支援センターとのかかわり」
講師：朝倉保健所 保健婦 木村みどり氏
効果的な予防サービスと地域ケアの総合調整をケアプランに生かし、在宅介護支援センターとケアプランの連携が重要
- 独居老人とケアマネージャーとのかかわりについて
① 健康管理面：かかりつけ医との連携
② 急変時の対応：連絡網の整備
③ 保健福祉サービスを含めたケアプラン作成
④ 地域福祉権利擁護事業についての研修
- 「ケアマネージャーからの情報提供表」の配布状況、反応報告
- ケアマネージャーのモラルについて
- 今年度事業計画
開催予定日 8月10日 11月9日 2月8日

第3回開催 H13.3.9 23事業所中20事業所参加 26名が参加

第4回開催 H13.5.11 23事業所中19事業所参加 28名が参加

通所リハビリ部会

部会長 江藤清子

議題

- 現在の利用状況
① 利用数の低下。(冬季、転倒や入院、道路事情等)
② 曜日にバラつきが多く、居宅支援事業所に検討依頼するがうまくいかない。
- 直面している問題点
① マンパワー不足 → 10:1の介護基準の見直し、変更を要望したい。
(十分なケアができない、記録・書類作成が煩雑等。)
② レクリエーションの時間やすすめ方が難しい。
→ 利用者個々のニーズにかなっていれば、参加を強制する必要はない。
(盛り上げ方が難しい、不参加者へのケアが難しい等。)
- 新年度事業計画
年4回開催 18時より
内容：状況報告、テーマ別討議、施設(デイ)見学の計画等
部会の中で解決策が出ない事もありますが、意見交換することで各施設を参考にし、それがよりよいケアの提供へとつながればと考えております。

第2回開催 H13.3.9 8事業所中6事業所、14名が参加

訪問入浴介護部会

部会長 橋本恵美

1. 今年度の反省

- ① スタッフ間の役割分担が確立し、時間短縮された。
- ② 冬は利用者が減少傾向にあるため、隙間風対策など、いろいろな工夫をしていき来季につなげていく。
- ③ 現場中止後の主治医との連絡、報告が出来ていなかった。
- ④ 利用者件数が少ないため、スタッフがやりがいもなく、すぐ辞めてしまう。
- ⑤ この部会を通じ情報交換する中で、改善策が見出されよかった。
- ⑥ 訪問看護部会との合同会議により、以前より連絡がとりやすくなった。また、感染症講義後、手洗いを厳重にするようになった。

2. 部会長選出

平成13年度 部会長 芳野和子(きらく荘訪問入浴サービス)

3. 来年度計画

年4回(6月 9月 12月 3月)
テーマ(疾患についての勉強会、訪問系部会との合同会議、ケアマネとの会議等)

第3回開催 H13.3.12

全事業所、6名が参加

介護療養施設部会

部会長 川波浩司

(1) 第2回部会内容

- 各医療機関の現状説明
- 来年度部会の運営について
① 2ヶ月に1回開催(偶数月)第2水曜日
4月、8月、12月ケアマネージャー部門
6月、10月、12月事務長部門で開催
② 内容
・ 病床利用状況報告、問題点等

部会活動については、部会開催しながら検討していく。

3. その他
行政機関の対応について、認定申請者に対する対応など今後
もお互いの情報交換を含めて、地区内が意思統一できる協議内容
とする。

(2) 第3回部会内容(ケアマネージャー部門)

1. 利用状況報告
2. 問題点の検討
 - ① 介護保険認定審査について
 - ・更新手続きに苦勞している。(家族によっては、医療と同様に
考えている。)
 - ・不必要な方が介護認定申請をしている。
 - ② 記録、実施表について、各病院から説明
 - ③ ケアプラン作成について
 - ・現在使用しているケアプラン様式とソフト導入の状況報告
 - ・家族の希望や、理想と現実のギャップがある。
 - ④ その他
 - ・行政機関の対応や各病院ごとの問題点

3. 次回開催予定

H13・6・13 (水) 職種：事務長
今後、情報交換、検討事項について話し合い、各施設見学を予定

第2回開催 H13.3.14 5事業所中4事業所、4名が参加

第3回開催 H13.4.11 5事業所中4事業所、4名が参加

通所介護部会

部会長 黒田博喜／森山茂生

(1) 第3回部会内容

1. 新年度計画について
年4回(5月 8月 11月 2月)実施
2. 部会長選出：1年交代
平成13年度 部会長 森山茂生(まるごとデイサービス日迎の園)
3. その他
 - ① 看護、介護職員が参加しての意見交換も必要ではないか。
 - ② 園外行事が思うように出来ないのが苦情がでている。
 - ③ 施設内でできるサービスを工夫する必要がある。
 - ④ 誕生会のプレゼントとしてポラロイド写真カードや、手作り
おやつ、100円均一商品など工夫している。
 - ⑤ 昼食にバイキング食やコーヒースービスを実施しているところ
もある。飲み物のバイキングを検討している、との意見もあり。
 - ⑥ 部会の活動計画アンケート調査を実施する

(2) 第4回部会内容

1. アンケート結果報告・意見交換
問題点：
 - ① 転倒事故により補償を要求された。
 - ② ケアマネージャーとの情報交換をする機会がない。
 - ③ 送迎時通院を希望され、その場合の送迎加算がとれない。
 - ④ 利用人数によっては、職員配置を変更しなければならない。等
部会への要望：
 - ① 医療関係者を講師とした勉強会の開催
 - ② 通所介護事業者同士での情報交換を密に行いたい。
 - ③ ボランティア団体の情報が欲しい。等
独自のサービス：
 - ① 連絡帳の利用(家族との連携)
 - ② 日祭日の利用者の帰宅時に夕食用弁当を配達(社協の援助)等
2. 今年度活動計画
アンケート結果により、医療関係者を講師とした勉強会の開催、
及び看護婦、介護職員の情報交換を予定。

第3回開催 H13.3.16 9事業所中8事業所、8名が参加

第4回開催 H13.5.11 全事業所、11名が参加

訪問リハビリ部会

部会長 野口秀康

1. 今年度の事業計画について
年4回(4月、7月、10月、1月)原則として実施予定
拡大会議の検討事項等により、それ以外にも行うことあり。
内容：他の各部会に対し、リハビリ技師を講師とした研修会
の実施を希望するかどうか確認し、希望があった部会
との合同研修会を開催したい。
訪問介護部会との合同研修(訪問介護部会長と今後相談)
2. 5月18日の総会にむけて
3. その他
 - ・次回、新規加入の甘木中央病院より、訪問リハビリの現状
について報告してもらう。
 - ・今後部会の連絡網を作成する。

第2回開催 H13.4.24

全事業所、7名が出席

訪問介護部会

副会長 火野坂 徹

今回初めて部会を開催し、空席だった部会長を選出しました。
議事内容

1. 参加者自己紹介
2. 事業者協議会及び専門部会についての趣旨説明
3. 部会長選出
部会長 渡部照代(三輪町社会福祉協議会)
次回より 渡部氏が部会開催を行っていきます。
4. 次回開催予定
6月19日

第1回開催 H13.5.9

14事業所中11事業所、17名が参加

介護保健施設部会 ＜支援相談員部門＞

部会長 熊谷 真由美

今回は、支援相談員の方々に集まってもらい、会議を行いました。

1. 現在直面している問題点
 - ① 退所指導がうまくいかない。
 - ・家族の受け入れが困難、痴呆の方の場合、独居の方の場合
・入所時に家庭復帰に向けてのプランを立案しているのだが
…。
 - ② 苦情処理の対応について(書類の活用：老施協の書式)
 - ③ サービス担当者会議の実施について
 - ・時間調整が難しい、主治医の参加が出来ない。
 - ・ある市の社協系の居宅介護支援事業者では会議の日を決め
て、各サービス事業者が時間を決めて、打ち合わせにこれ
るようにしているところがある。
 - ④ 利用者とのかかわりについて
 - ・系列の居宅介護支援事業者以外の事業者と積極的に関わり
を持つことが必要
 - ⑤ 入所・通所の受け入れ状況(MRSA、経管栄養、在宅酸素、
カテーテル留置のある方)
2. その他
 - ① 「サービス評価マニュアルについて」部会で自己実施し、
公開できたらよいのでは。

第3回開催 H13.5.23

6事業所中5事業所、8名が参加

事務局報告

平成12年度事業

介護保険「在宅サービス利用者とそのご家族の意識調査」集計報告 [集計：平成13年6月4日]

介護保険施行後7ヶ月が経過した平成12年10月1日から、65歳以上の方の保険料徴収が開始されました。それに伴い利用者の介護保険に対する関心も高まり、またこの介護保険制度についても利用者に対し浸透しはじめてきたと考え、当協議会において在宅高齢者に対する「意識調査」を実施致しました。

当時は一般新聞等マスコミにおいて、80%以上の利用者が介護保険に満足しているという報道がなされており、事業者として安心する反面、地域の方々の反応を協議会自ら調査することで、2年目に入る前に自己点検を行うとともに、改善点や要望などを今後私どもの居宅介護サービスの指針とすることを目的として実施いたしました。このほど集計結果の分析ができましたので、一部を皆様方にご報告します。

尚、後日正式な報告書として回答いただきました方々と会員の皆様方のお手元にお届けする予定にしております。

1. 調査期日：平成13年2月14日から3月末日(45日間)
2. 調査項目：設問は「17項目(内容省略)」及び改善すべきことや、ご要望等の記入調査依頼。
3. 調査対象：平成12年12月末時点で当協議会会員の居宅介護支援事業者(23事業者)にケアプラン作成を依頼されておられる利用者。

	対象者総数	回答男性	回答女性	回答不明	回収数	回収率(%)
全体	1,136人	223人	535人	44人	802人	70.6
甘木市	411人	97人	249人	14人	360人	87.6
朝倉郡	725人	126人	286人	30人	442人	61.0

4. 全設問17項目の中から、以下の2設問の項目についてご報告いたします。

【問5】 ケアプランには、あなたやご家族の方の希望が反映されていますか。 [要介護度別の状況 単位：%]

	されている	されていない	未回答
要支援	83.5	10.1	6.3
要介護1	91.1	4.0	4.9
要介護2	93.9	3.8	2.3
要介護3	97.7	2.3	2.3
要介護4	87.9	5.2	6.9
要介護5	91.1	7.1	1.8

反映されない不満・理由等93件

- ① 家族から63件
 - ・従事者の能力の格差、人材不足等
 - ・ケアマネージャーと事業者の連絡がまずい等
 - ・ショートステイを利用したい時使えない等
- ② 利用者から30件
 - ・サービス提供者に個人差が有り不安
 - ・お風呂に長くつかれない等

- 【問12】 介護サービスで困った事や改善して欲しい点はありますか。 [単位：%]

(最後に自由記入式で改善点や要望点を記入していただきましたが、本設問と共通の為、そのデータも併せて集計しております)

	ない	ある	未回答
全体	74.6	9.5	16.0
甘木市	74.7	9.7	15.6
朝倉郡	74.4	9.3	16.3

困った事・改善・要望点等158件

- ① 家族から116件
 - ・事業者、保険者へ全般的に要望があります
- ② 利用者から40件、不明2件
 - ・負担金や会話不足等
 - ・又感謝のお言葉も…

集計分析は、男女・年齢・要介護度・市町村・サービス別に、又介護認定更新後、軽度になって良かった・悪かった事、重度になって良かった・悪かった事にも及んでいます。この結果は調査にお答えいただいた利用者の方々を始め、関係市町村、行政機関へもご報告していきたいと思っております。なお、甘木市及び朝倉郡内各町村の広報誌への掲載についてもご了解いただいておりますので、後日掲載される予定です。

(記 事務局長 今村武人)

事務局

甘木朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0227 福岡県朝倉郡夜須町大字朝日586番地
介護老人福祉施設 朝老園内
TEL (092)926-1171 FAX (092)926-3471

編集 / 発行所

甘木朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-0823 福岡県朝倉郡三輪町大字山隈501番地
介護老人保健施設 城山荘内
TEL (0946)22-1051 FAX (0946)22-1318
印刷 / 井上総合印刷株式会社